



大阪公立大学 教育福祉研究センター 公開講座 「ヤングケアラーと様々な支援 —関西での支援事例とイギリスから学ぶ—」

近年、ヤングケアラーという言葉をよく見聞きするようになりました。しかし、どのような人々か等について、認識がまちまちな現状が、あります。また、どこに相談窓口を設け、どのように支援するか、行政、民間団体の役割は何か等、たくさんの課題があります。本講座では、我が国におけるヤングケアラーの実態、先行している英国における実践例、日本における2自治体の実践、元ヤングケアラーが立ち上げた民間団体（NPO法人）の実践等について、学びます。我が国におけるヤングケアラー支援の現在地を確認し、今後の展望についても、考えます。家族のケアは誰にでも起きうることであり、私たちの暮らしにとって、とても身近です。多くの方のご参加を、お待ちしております。

1. 神戸市における相談支援事業の立ち上げ

岡本和久さん（神戸市福祉局障害福祉課）

2. ヤングケアラーの実態。日本における支援の動向と英国の例

濱島淑恵さん（大阪公立大学現代システム科学域教員）

3. 豊中市における実践と今後の課題

島田直代さん（豊中市こども未来部こども安心課ヤングケアラー相談窓口）

4. ヤングケアラーとしての経験と、私たちの活動で大切にしていること

山中葉月さん（NPO法人ふうせんの会。元ヤングケアラー）

日時：2024年3月16日（土）14～17時（受付：13時半より）

会場：大阪公立大学「I-siteなんば」2階会議室

大阪市浪速区敷津東2-1-41

<https://www.omu.ac.jp/isite/access/>

参加費：無料

QRコードはこちら→



申し込み方法：電子メールで2024年3月15日（金）13時までに以下にお申し込みください。

その際、お名前(フリガナ)、ご所属、電話番号を、お書きください。

<申し込み専用メアド> gr-sss-center@omu.ac.jp 教育福祉研究センター